

# 野外観察での事故に注意

## 関連単元

### 1.身近なしぜんのかんさつ

- 植物の育ちとつくり
- 自由研究 てかけよう しぜんの中へ
- いろいろなこん虫のかんさつ
- 植物の一生

### 1.春の自然(4年)

- 夏其自然
- 秋の自然
- 冬の自然

# 3年

## 事故が起きないために

### 1

行き帰りに交通事故に遭わないように注意する。

- 交通量が多く、歩道のない道路はなるべく通らない。
- 狭い道路では、道路の右端を安全に歩く。
- 道路を歩くときは、ふざけたり、道幅いっぱい広がったり、長い列になったりしない。

### 2

現地で怪我をしないように注意する。

- 2人以上で行動する。  
⇒1人が何らかの事故に遭っても、もう1人が連絡できるようにする。
- 草むらでは走らない。  
⇒草むらには何があるか分からない。走ると隠れていた石などにつまづいて転んだりして、怪我をする恐れがある。
- 凸凹道を通るときは、急がなくてゆっくり歩く。
- 道に浮き出た木の根には乗らない。  
⇒道に浮き出ている木の根は、皮がむけて滑りやすくなっている。それが濡れると一層滑りやすくなる。また、これらに足を引っかけて転倒することもある。山道に浮き出た木の根には乗らないで、またいて歩くように注意する。
- 小枝の跳ね返りに注意する。  
⇒木々の小枝が多く出ている小道を歩いているとき、前を歩く友達が払った小枝が跳ね返り、怪我をすることがある。このような場合は、小枝を手で押さえて、前後の人との間隔を十分とるように注意する。また、よそ見をしないように注意する。
- 肌が出ていると、小枝を払うときに擦り傷を負うことがあるので注意する。



### 3

転落・滑落をしないように注意する。

- 崖には近づかないようにする。  
⇒観察場所の近くに崖がある場合は、その付近に指導者が立って注意を促す。また、ロープを張って立入り禁止にする。
- 露頭で地層観察をする場合は、登ってもよい範囲を決めておく。  
⇒高い所に登って観察すると、滑落するおそれがある。また、土や石を落としたりすると、下にいる者が、危険な目に遭う。



### 4

観察道具の使い方に注意する。

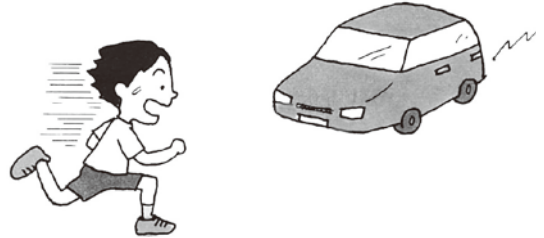
- 移植ごての取り扱いに注意し、けがのないようにする。  
⇒移植ごてをふりまわさないようにする。
- ⇒金属部分で、手や指を切らないように気をつける。

# ● かんさつに出かけてけがをしないように気をつけよう ●

## ● けがをしないために

### 1 交通じこにあわないようにしよう。

- 交通ルールを守る。  
⇒ 道路の右がわを安全に歩く。  
⇒ 歩いているときはふざけない。



### 2 ころんでけがをしないようにしよう。

- 草むらでは走らない。
- 道にうき出た木の根に<sup>ね</sup>乗らない。



### 3 小えだに<sup>ちゅうい</sup>注意しよう。

- 小えだのはね<sup>かえ</sup>返りに注意する。
- 小えだですりきずをおうことがあるので注意する。



### 4 げけから<sup>お</sup>落ちないように気をつけよう。

- げけには近づかない
- げけを<sup>のぼ</sup>登らない。



### 5 落ち<sup>ふ</sup>ついて行動しよう。

- 虫などを見つけたときに、あわててその場へ行こうと走らない。
- 一人で行動しないようにする。